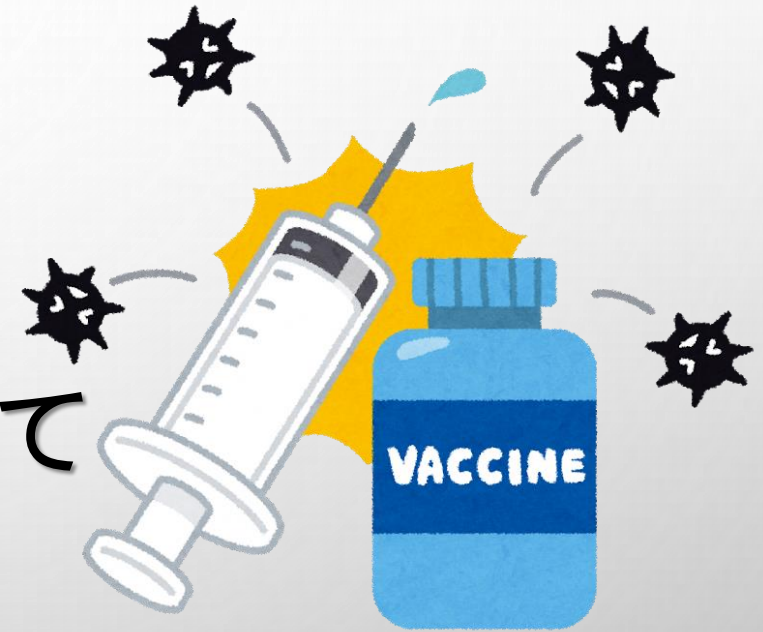


新型コロナウイルスワクチンについて

- ・ワクチンとは
- ・新しいワクチンのしくみ
- ・日本におけるワクチンについて
- ・ワクチン接種時の注意点



ワクチンとは①

- われわれは、体の外から異物が侵入してきた場合、異物を発見して排除する仕組みが備わっています(=「免疫機構」と呼びます)
- 免疫の能力が高い人は一般に、抵抗力がある、などと表現されています
- 免疫機構は、まったく新しい、未知の異物に対する場合、その効果を最大限に発揮するまでに時間を要します
- このため、今回の新型コロナウイルスが侵入してきた場合、免疫を得る前にウイルスが体内を駆け巡り、その結果、重症に陥ってしまうことがあります
- そこで、前もって、私たちの体に目的の病原体の情報を与えておき、いざ、本物の病原体が侵入してきた際に迅速な対応ができるように準備する、という考え方のもとに使用されるものがワクチンです

ワクチンとは②

- 従来のワクチンは、対象の病原体から病原性を取り除き、無害化したものを投与して、その情報を体に覚えさせるものです
- この方法は、長い実績があるものの、無害化させるための方法の開発に時間を要します
- そこで、新型コロナウイルスのワクチン作成においては、従来とは異なった方法でワクチンが作られました
- 現在、日本で使用が認められているワクチンは、**mRNAワクチン**と**ウイルスベクターワクチン**です

新しいワクチンの仕組み

- mRNAワクチンとは、新型コロナウイルスの遺伝子の、特有の情報を取り出し、これを接種することで、新型コロナウイルスの情報を得る、という形で免疫を獲得することができます
- mRNAは、人間の遺伝子に入り込むことがないため、その点では安全性の高いワクチンと言えます
- ウイルスベクターワクチンとは、新型コロナウイルスの遺伝子情報を、ベクターと呼ばれる無害のウイルスに組み込んだものです
- mRNAワクチンと同様、これが、接種された人に、新型コロナウイルスの情報を与えてくれます

日本におけるワクチンについて

- 令和3年9月1日現在、わが国で使用が認められているワクチンは3種類です
- それぞれ製品名はありますが、便宜上、製造している会社名で区別しています
- ワクチンの種類と、今までに海外で報告されている有効性は表のとおりです
- なお、この有効性の数字は、海外での治験(試験的な投与による調査)から得られたものですので、日本人においても同様の結果になるとは限らないことにご留意ください

日本におけるワクチンについて(表)

製造会社	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ
種類	mRNA	mRNA	ウイルスベクター
有効性	95%	94.5%	70%

ワクチン接種時の注意点

- 予防接種の副反応として、注射部位の痛み・腫れ、疲労感、頭痛、筋肉痛、
- 関節痛、発熱、悪寒、吐き気・嘔吐などが報告されています
- また、ごくまれに、ワクチン接種後に軽症の心筋炎や心膜炎の報告もされています
- 接種後数日以内に胸痛、動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら医療機関を受診してください
- 現在のところ、1回目の接種でアレルギー反応があった場合でも、2回目の接種は可能である、という報告がアメリカでなされていますが、日本では、慎重な判断をしています
- **ワクチンを接種してから十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度経過してからです。更に、ワクチンは感染を完全に予防できるものではありません。ワクチン接種後も適切な感染防止策を行っていただくよう、重ねてお願い申し上げます**



令和3年9月3日 保健所長 堀切 将

参 考 文 献

- 塚原ほか. 特集COVID-19 薬剂開発・薬物治療. 東女医誌91(1)P19-28.2021
- 厚労省ホームページ. [HTTPS://WWW.MHLW.GO.JP/INDEX.HTML](https://www.mhlw.go.jp/index.html)
- KRANTZ MS et al. SAFETY EVALUATION OF THE SECOND DOSE OF MESSENGER RNA COVID-19 VACCINES IN PATIENTS WITH IMMEDIATE REACTIONS TO THE FIRST DOSE. JAMA INTERN MED. JUL 26 2021